

Kubota

5789-01156-0

取引証明書

クボタデジタル台はかり

KL SERIES

取扱説明書

製品型式：

KL-SD シリーズ

KL-SD-K6MS(H)

KL-SD-K32S(H)

KL-SD-K60A(H)

KL-SD-K150A(H)

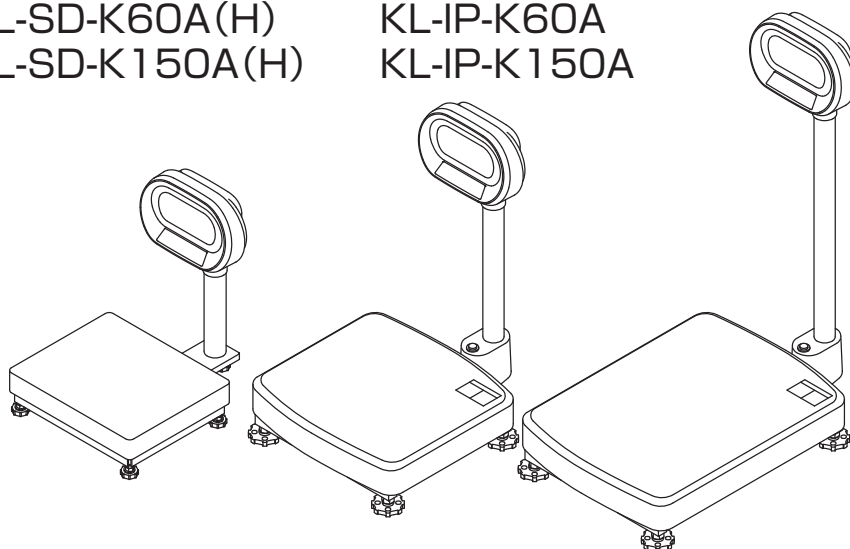
KL-IP シリーズ

KL-IP-K6MS

KL-IP-K32S

KL-IP-K60A

KL-IP-K150A



はじめに

このたびは、クボタ製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書は、クボタ製品を正しく取り扱っていただくための基本的な知識について記載したものです。本製品をお使いになる前に熟読され、よくご理解のうえ「正しい操作・正しい管理」をお願いいたします。
- 取扱説明書はいつでも参考にできるよう、必ず本製品の近くでわかりやすい場所に備え付けておいてください。
- 本製品についてのご照会は、型式及び器番をお知らせください。

株式会社クボタ

- 製品改良のため、本書の内容とお届けする製品の仕様が一部異なる場合があります。また、本書は万全を期して作成しておりますが、万一の誤記、記入漏れ、ご不明な点やお気づきの点がございましたら、購入された販売店または弊社サービス窓口にお問い合わせください。また、その結果によって発生した影響につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本書の著作権は株式会社クボタに所属します。本書の一部または全部について弊社に許諾を得ずに、いかなる方法においても無断で転載・複写・複製することを禁止します。
- 本製品は日本国内でご利用いただけるよう製作しています。本製品を輸出または国外へ持ち出される際は、弊社までご相談ください。
- いかなる場合であっても、弊社は本製品を使用した結果生じる損失、逸失利益などの損害について、一切の責任を負わないものとします。あらかじめご了承ください。
- 本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。法令で定められた方法で廃棄するか、または、専門の廃棄物処理業者に委託してください。

本製品の品質保証システム

●「お客様登録カード」の投函をお願いします。

弊社では、お買い上げいただいた製品の保証登録をさせていただくため、「お客様登録カード」の返送をお願いしています。お手数ですが、製品に同梱しております「お客様登録カード」に必要な事項をご記入の上、ポストに投函をお願いいたします（切手は不要です）。

ご返送を確認後、弊社から「品質保証書」（および「ユーザー ID」）をお送りいたします。

※「品質保証書」（または「ユーザー ID」）がない場合、本製品の保証をいたしかねる場合がありますので、大事に保管してください。

●ホームページでのユーザー登録

弊社（クボタ）ホームページでも、本製品のユーザー登録が行えます。

（この場合、「お客様登録カード」の投函は不要です。）

《URL》 <http://www.keisoku.kubota.ne.jp/>

登録手続が完了後、約 1 週間で「品質保証書」（および「ユーザー ID」）をお送りいたします。

ユーザー ID のメリット

●保証期間終了後も安心

ユーザー ID があれば、本機の品質保証期間終了後も、迅速かつ適切なコールサポート（メンテナンスサービス）がご利用いただけます。

なお、お客様に関する情報は、お客様へ必要な情報をお知らせし、充実したサポート、サービスを提供するために使用するものとし、弊社から第三者に提供することはありません。

（ただし例外として、ご購入いただいた製品に対するアフターサービスおよびサポートを提供するために必要となる範囲で、業務委託を行う業者に開示することがあります。）

目次

安全上のご注意	P 1
ご使用前に	P 2
設置・使用場所について	P 2
使い方について	P 3
検定付はかりについて	P 3
ご使用になれる地域	P 3
本体各部のなまえと役割	P 5
指示計(表示部・操作部)の役割	P 7
表示部の役割	P 7
操作部の役割	P 7
準備する	P 8
製品・付属品をご確認ください	P 8
計量器の組立方法	P 8
電池のセット(および交換方法)	P 9
のせ台の水平を確かめる	P 9
指示計の角度を調整する	P 10
■電源を入れる	P 10
計量のしかた	P 11
■目量/計量範囲を切り替える	P 11
■基本的な計量(計量モード)	P 12
容器の質量を差し引く(風袋引き機能)	P 12
★記憶した風袋量の保持(ワンタッチ、プリセット風袋引き共通)	P 12
■そのつど容器の重さを差し引く(ワンタッチ風袋引き)	P 13
■容器の質量をキーで設定する(プリセット風袋引き)	P 13
■正味量表示と総量表示を切り替える	P 14
■風袋量を確認する	P 14
■風袋引きを解除する(ワンタッチ/プリセット共通)	P 14
モード選択	P 15
個数をはかる(計数機能)	P 16
■単位質量を設定する	P 16
■個数をはかる	P 17
量の過不足をチェックする(上下限比較機能)	P 18
■下限値と上限値を設定する	P 18
■計量(計数)と判定	P 18
設定値を記憶させ、呼び出す(メモリ機能)	P 19
■メモリ(プリセット)を事前に設定する	P 19
■メモリ(プリセット)を呼び出す	P 20
その他の機能(ファンクション設定)	P 21
■ファンクション設定値を変更する	P 21
■ファンクション設定値一覧	P 22
故障かな?と思ったら	P 24
保管とお手入れのしかた	P 25
主仕様	P 26

安全上のご注意

安全注意シンボル

このシンボルは「安全注意」を示します。本機の注意銘板あるいはこの取扱説明書で、このシンボルを見た場合は、安全に注意してください。

記載内容に沿って、予防措置を講じ「正しい操作・正しい管理」を行ってください。



シグナルワード

シグナルワードは、人の安全確保や製品の取扱い上、知っておくべき項目を示す見出しです。安全上のシグナルワードは、人に及ぼす危険の度合いにより、「危険」「警告」および「注意」の区分があります。

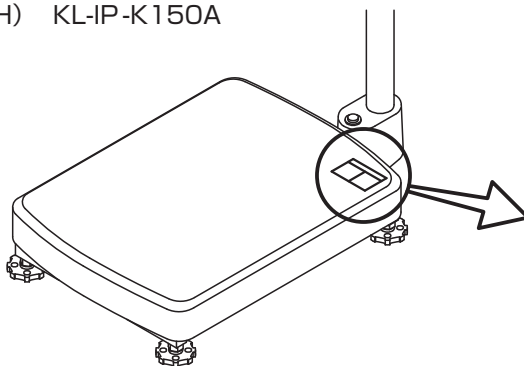
安全注意シンボルとともに用い、それぞれ右のような意味をもっています。

- 本機の注意銘板は、これらを使い分けています。注意銘板をよく確認してください。
- 本機の取扱上の注意点については、取扱説明書本文に記載していますので、必ず指示に従って取り扱ってください。

本機の注意銘板

該当型式：

KL-SD-K32S(H) KL-IP-K32S
KL-SD-K60A(H) KL-IP-K60A
KL-SD-K150A(H) KL-IP-K150A



5023-01790

安全指示遵守

- 本書および注意銘板をよく読み、ご理解ください。
 - ・注意銘板は、いつもきれいにしておいてください。
 - ・破損や紛失した場合、ただちにご発注の上、再度貼り付けてください。
- 本書記載事項以外についても、安全には細心の注意をはらってください。

ご使用の前に

設置・使用場所について

安全で正確な計量を行うため、以下のような場所での設置・使用は避けてください。



①爆発危険雰囲気

本機は防爆機器ではありません。爆発性ガス、引火性ガスなどの爆発危険雰囲気で使用すると火災や爆発を引き起こす恐れがありますので、絶対に使用しないでください。

②揺れや振動がある場所

交通振動や機械振動がある場所、床が不安定な場所では安定した計量ができません。

③凹凸がある場所

正確な計量のために、本製品を水平に保つ必要があります。

④風が強くあたる場所

エアコンや換気装置、窓やドアの近辺など、強い風があたる場所では安定した計量ができません。

⑤冷暖房機器の近くや温度変化の激しいところ

熱により故障の原因となります。また急激な温度変化は、正確な計量の妨げになるうえ、湿度が高い場合は結露が生じる原因ともなります。

⑥戸外(雨や日光が直接あたる場所)

雨や直射日光などの影響は、故障の原因となります。

⑦動力機器や強い電磁波を発生する機器の近く

コンプレッサーなどから発生する電波がはかりを誤動作させる場合があります。AC電源を使用される場合は、これらの機器とは別の電源システムを利用してください。

⑧静電気の発生しやすい場所

帯電した静電気の放電が、はかりを誤動作させる場合があります。

⑨湿気や塵の多い場所

故障の原因となります。湿気や塵の多い場所での使用は避けてください。また防水仕様であっても多量の水や水圧の高い水をかけることを避けてください。

⑩表記された使用地域外での使用

計量誤差の原因となります。また、検定付のはかりは、表記された重力加速度の範囲外で使用するとは法律で禁じられています。

⑪腐食性液体、ガス雰囲気での使用

素材として銅やアルミ、樹脂を使用しています。硫酸、硝酸など腐食性液体、ガスの雰囲気では使用しないでください。部品劣化の原因となります。

使い方について

計量誤差や製品の故障、部品の脱落の原因となりますので、日常は次のことにご注意ください。
ご使用前およびご使用後は、点検されることをお勧めします。

- ①はかりに、品物を長時間載せたままにしないでください。
- ②ひょう量以上の品物をのせ台に載せないでください。
- ③のせ台や指示計に衝撃を与えたり、ものを落下させないでください。
部品が脱落する場合があります。また計量誤差の原因となります。
- ④本製品は精密計測機器です。一切の分解・改造をしないでください。
- ⑤はかりを長時間使用しない場合は、乾電池を取り出してください。
電池から液が漏れだすことがあります。



- ⑥操作部のキーは、指で操作してください。
鉛筆やボールペンなど尖ったもので操作すると、操作部が破損することがあります。

- ⑦のせ台の端部に手を当てて持ち上げないでください。
特に濡れた手で触れると、手を滑らせてケガをする場合があります。



- ⑧移動や運搬の際には、計量台部の底を両手でしっかりと持ち上げてください。
指示計や支柱を持たないでください。本機の破損や部品の脱落につながり、事故を引きおこす恐れがあります。

※台車などを利用して移動や運搬をする場合であっても、振動による緩みで部品が脱落する場合があります。



- ⑨オプションのACアダプタを使用する場合は、濡れた手で抜き差ししないでください。
また、水などがかからないように注意してください。
感電の恐れがあります。

- ⑩オプションのACアダプタは、指定以外のものを使用しないでください。

検定付はかりについて

本製品は、取引・証明用(特定計量器：国家検定付)です。取引・証明に使用できます。

※表記された重力加速度範囲外で特定計量器を使用することは法律で禁じられています。

※取引・証明に使用する場合は、2年に一度、都道府県等が行う定期検査を受けてください。

※重力加速度の範囲と対応する都道府県は次ページをご参照ください。

ご使用になれる地域

正確な計量を行うため、その計量器を使用することができる重力加速度の範囲を示したステッカーを本体に貼り付けています。重力加速度の範囲と対応する都道府県名は次ページをご参照ください。

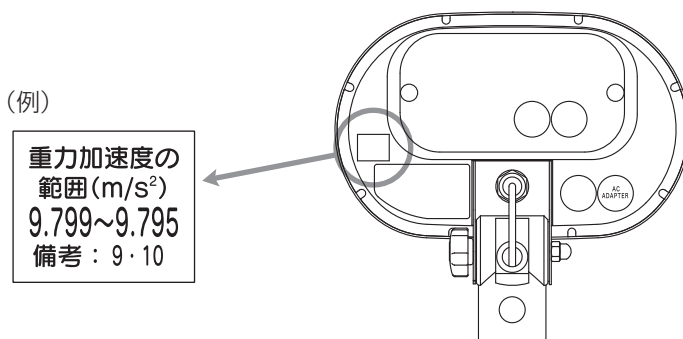
【該当型式：KL-SD/KL-IP-K6MS、-K32S、-K60A、-K150A】

重力加速度	使用可能 都道府県
9.807～9.803	北海道
9.804～9.800	青森県、岩手県、秋田県、宮城県
9.802～9.798	宮城県、山形県、福島県、茨城県、新潟県
9.800～9.796	栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都(小笠原支庁、八丈支庁除く)、 神奈川県、富山県、石川県、福井県、山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、 京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
9.799～9.795	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都(小笠原支庁、八丈支庁除く)、神奈川県、 福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、 兵庫県、奈良県、和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、 愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県
9.798～9.794	東京都(小笠原支庁、八丈支庁含む)、神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、 愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、 徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、 鹿児島県(鹿児島郡、西之表市、熊毛郡、奄美市、大島郡を除く)
9.794～9.791	鹿児島県(鹿児島郡、西之表市、熊毛郡、奄美市、大島郡に限る)
9.792～9.789	沖縄県

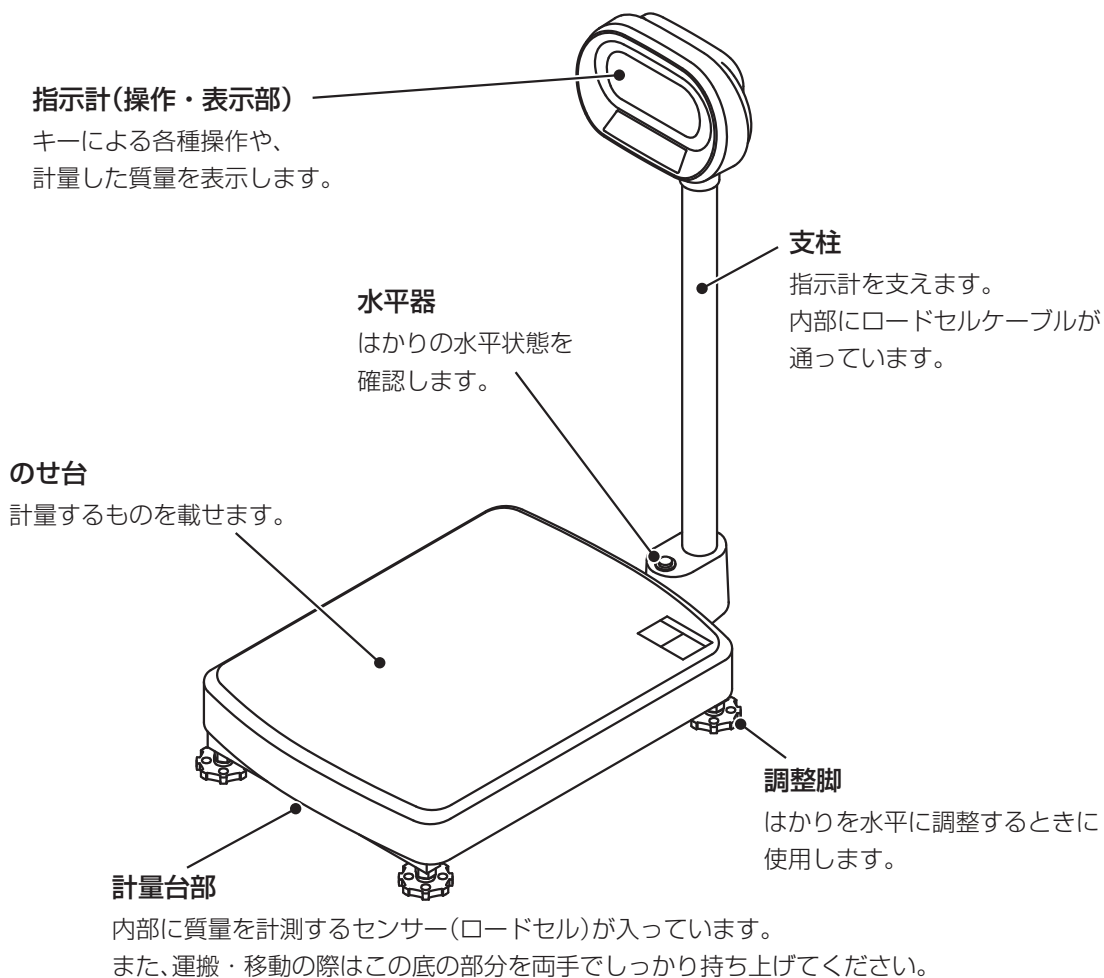
【該当型式：KL-SD-K6MSH、-K32SH、-K60AH、-K150AH】

重力加速度	使用可能 都道府県
9.807～9.804	北海道(釧路市、根室市、留萌市、稚内市、北見市、網走市、紋別市、旭川市、名寄市、 富良野市、士別市、宗谷総合振興局、上川総合振興局、留萌振興局、 オホーツク総合振興局、根室振興局、釧路総合振興局)
9.706～9.803	北海道(札幌市、江別市、千歳市、恵庭市、石狩市、北広島市、小樽市、夕張市、 岩見沢市、美唄市、芦別市、赤平市、三笠市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、 函館市、北斗市、室蘭市、苫小牧市、登別市、伊達市、帯広市、石狩振興局、 後志総合振興局、空知総合振興局、檜山振興局、胆振総合振興局、日高振興局、 渡島総合振興局、十勝総合振興局)
9.804～9.801	青森県、岩手県
9.803～9.800	秋田県、宮城県
9.802～9.799	宮城県、山形県
9.801～9.798	福島県、茨城県、新潟県
9.800～9.797	栃木県、千葉県、富山県、石川県、福井県
9.799～9.796	群馬県、埼玉県、千葉県、東京都(小笠原支庁、八丈支庁除く)、神奈川県、福井県、 山梨県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、 和歌山県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
9.798～9.795	東京都(小笠原支庁、八丈支庁除く)、神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、 愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、奈良県、和歌山県、鳥取県、岡山県、広島県、山口県、 徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、長崎県
9.797～9.794	東京都(小笠原支庁、八丈支庁に限る)、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、 高知県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、 鹿児島県(鹿児島郡、西之表市、熊毛郡、奄美市、大島郡を除く)
9.794～9.791	鹿児島県(鹿児島郡、西之表市、熊毛郡、奄美市、大島郡に限る)
9.792～9.789	沖縄県

重力加速度の範囲を示したステッカの貼付位置

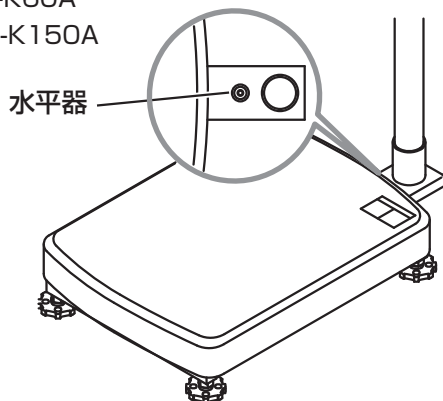


本体各部のなまえと役割

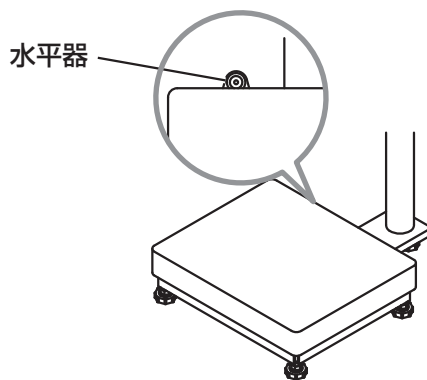


※上記はKL-SD シリーズ(S型、A型)の場合です。
その他の製品型式は、下図のように水平器の取付位置が異なります。

該当型式：
KL-IP-K32S
KL-IP-K60A
KL-IP-K150A



該当型式：
KL-SD-K6MS(H)
KL-IP-K6MS



【該当型式：KL-SD シリーズ】

電池カバー固定ネジ

電池カバーを固定しています。
電池を交換する際に取り外します。
⇒ P9

上下限リレー接点出力ジャック (オプション)

オプションの上下限リレー接点を出力する際に使用します。

RS-232C ジャック (2か所) (オプション)

オプションの一体型ジャーナルプリンタをご使用になる場合など、RS-232C データを出力する際に使用します。(最大2点まで使用できます)

上下可動ノブ

指示計の角度(上下方向)を調整する際に使用します。
⇒ P10

指示計固定ネジ

指示計の角度(左右方向)を調整する際に使用します。
⇒ P10

ACアダプタジャック

オプションのACアダプタをご使用になる場合は、この位置のシールをはがしてください。ACアダプタジャックが現れます。

【該当型式：KL-IP シリーズ】

電池カバー固定ネジ

電池カバーを固定しています。
電池を交換する際に取り外します。
⇒ P9

上下限リレー接点出力ジャック (オプション)

オプションの上下限リレー接点を出力する際に使用します。

RS-232C ジャック (2か所) (オプション)

オプションの一体型ジャーナルプリンタをご使用になる場合など、RS-232C データを出力する際に使用します。(最大2点まで使用できます)

上下可動ノブ

指示計の角度(上下方向)を調整する際に使用します。
⇒ P10

指示計固定ネジ

指示計の角度(左右方向)を調整する際に使用します。
⇒ P10

ACアダプタジャック

オプションのACアダプタをご使用になる場合は、この位置のシールをはがしてください。ACアダプタジャックが現れます。

指示計(表示部・操作部)の役割

表示部の役割

電池マーク
使用中に電池の残量が少なくなると点灯します。電池を交換してください。
⇒ P10

PT
プリセット風袋引き中に点灯します。
⇒ P13

PCS
計数モード選択中に点灯します。
⇒ P16

計量(計数)表示
質量値または計数値を表示します。
⇒ P12、P16

HI OK LO
上下限比較機能を使用中に、表示します。
⇒ P18

kg
計量モードを選択中に点灯します。
⇒ P12

ゼロ
はかりが正しいゼロ状態のときに点灯します。
⇒ P12






正味量
風袋引中で正味量を表示しているときに点灯します。
⇒ P13、14

総量
風袋引中で総量を表示しているときに点灯します。
⇒ P14

目量(小) 目量(大)
2つの目量のうち、選択中の目量が点灯します。
⇒ P11

バランス
計量値が安定すれば、点灯します。
⇒ P12

操作部の役割

	<ul style="list-style-type: none"> ・はかりの電源をONします。 ・電源ON時は、はかりのゼロがずれたときに使用します。 ・各種機能の設定値を決定するときに使用します。 ・長押し(3秒)すると、はかりの電源をOFFします。
	<ul style="list-style-type: none"> ・風袋引きをする際に使用します。 ・長押し(3秒)すると、プリセット風袋量の設定画面になります。 ・各種機能の設定時には、数値を増加させるために使用します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・風袋引き中に、総量(正味量+風袋量)を表示させるために使用します。再度押すと正味量表示に戻ります。 ・各種機能の設定時には、数値を減少させるために使用します。
	<ul style="list-style-type: none"> ・目量を切り替える際に使用します。 ・計数モードを選択中に、単位質量を設定するために使用します。 ・各種機能の設定時には、桁を移動させるために使用します。 ・長押し(3秒)すると、モードを選択する画面になります。
	<ul style="list-style-type: none"> ・オプションのプリンタやRS-232C出力を使用しているときに、手で印字又は外部出力する際に使用します。 ・長押し(3秒)すると、メモリ(プリセット設定値)を呼び出す画面になります。

準備する

製品・付属品をご確認ください

本製品の開梱の際、本体・付属品に異常がなく、すべて揃っていることをご確認ください。

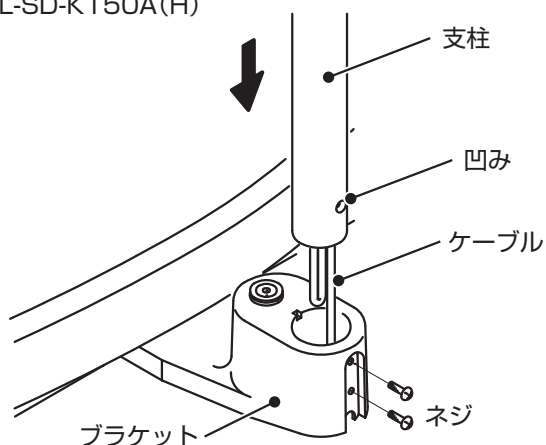
標準付属品

- 単1型乾電池 ×4本(動作確認用)
- 取扱説明書(本書)
- お客様登録カード

計量器の組立方法(別紙“開梱と組立要領”をご参照ください。)

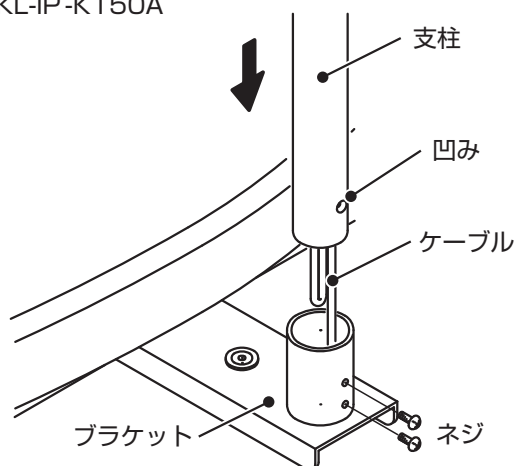
該当型式：

- KL-SD-K32S(H)
- KL-SD-K60A(H)
- KL-SD-K150A(H)



該当型式：

- KL-IP-K32S
- KL-IP-K60A
- KL-IP-K150A



1 支柱の中に余分なケーブルを束ねてしまいこみ、支柱をブラケットに差し込みます。

2 支柱の凹みに合わせて、ネジを締め込みます。



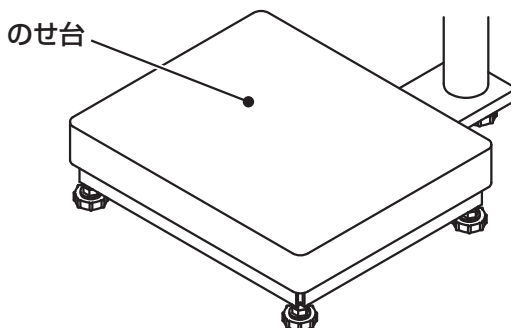
※ケーブルが支柱とブラケットの間に挟まれないように注意してください。

ケーブルが損傷すると故障の原因になります。

該当型式：

- KL-SD-K6MS(H)
- KL-IP-K6MS

のせ台を計量台部に被せます。



電池のセット(および交換方法)

1 指示計後部の、電池カバーを固定しているネジ2本をゆるめ、電池カバーを取り外します。

※周辺に水滴などが付いている場合は、拭きとってください。

2 単1乾電池を電池ケースに入れます。



※交換の際は、4本すべてを新しいものと交換してください。

使用済のものが混じると液漏れや電池寿命低下の原因となります。

※電池のセット方向(+と-)に注意してください。

※性能が異なる乾電池(マンガン電池とアルカリ電池)を一緒に使用しないでください。

3 電池カバーを元通りに取り付けてください。

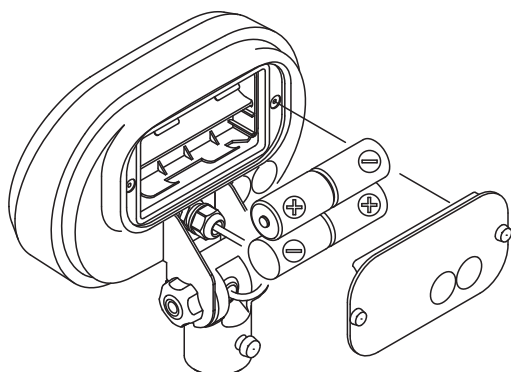


※ネジは必ず最後まで締めこんでください。

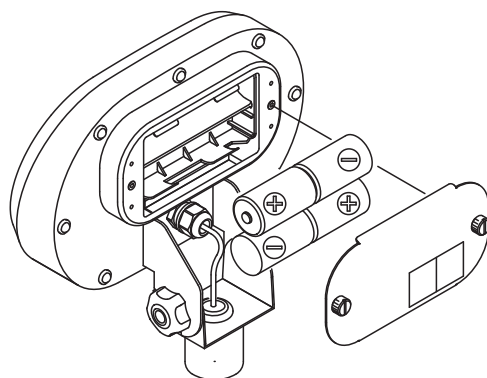
※電源を入れて、電池が正しくセットされたことを確認してください。

※はかりを長時間使用しない場合や、オプションの AC アダプタを使用する場合は、液漏れ防止のため、乾電池を取り出してください。

【該当型式：KL-SDシリーズ】



【該当型式：KL-IPシリーズ】

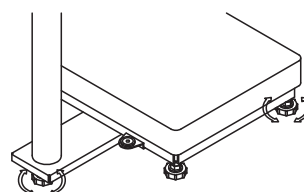
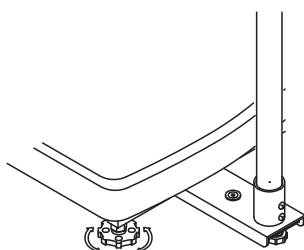
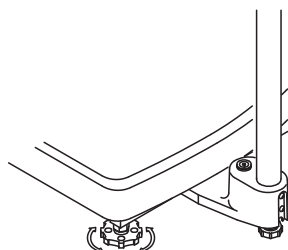
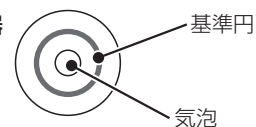


のせ台の水平を確かめる

水平器の気泡が基準円にくるように調整脚を回し、はかりを水平にしてください。水平でない場合、表示値に誤差が生じる場合があります。

※調整後は、必ず4本(又は5本)の調整脚が接地していることを確認してください。

水平器



指示計の角度を調整する

●上下方向

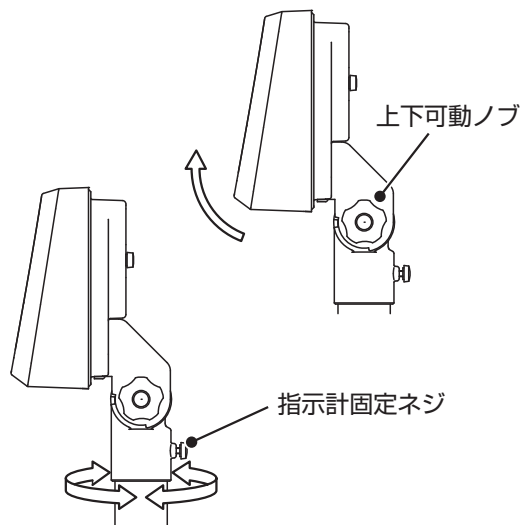
指示計側面のノブを回してゆるめ、角度を調整してノブを締め付けます。

KL-SDシリーズ：0～90° まで任意の位置で固定可

KL-IPシリーズ：15° 間隔で6段階の調整可

●左右方向

指示計後面の指示計固定ネジをゆるめ、角度を調整してネジを締め直し、固定されたことを確認します。



■電源を入れる

のせ台に何も載っていないことを確かめてから、表示が点灯するまで、「ON / ゼロ」キーを押します。



●一旦、すべての表示が点灯し、



●[0.00kg]等と表示します。



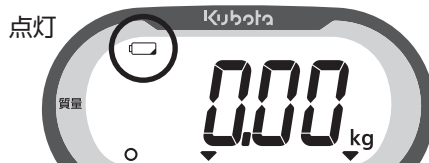
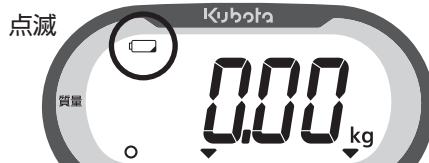
※プリンタオプションを使用の場合、計量表示となる前に、日時データを表示します。

※ACアダプタ(オプション)をご使用の場合は、ACアダプタジャックにACアダプタプラグを差し込み、電源プラグを正しくコンセントに差し込んでください。

★電池の残量確認

電池の残量を3段階で表示します。

- ①表示なし
- ②電池マークが点滅
- ③電池マークが点灯



※電池マークが点滅したら、交換用の電池を準備し、お早めに交換してください。

計量のしかた

■目量／計量範囲を切り替える

被計量物(はかるもの)の質量や、表示させたい目量に応じて、計量範囲を切り替えることができます。

※いずれの目量でも、計量範囲を 10 目量超えると表示は [E] となります。

型 式	目量小		目量大	
	計量範囲	目量	計量範囲	目量
KL-SD-K6MS KL-IP-K6MS	0g ~ 3000g	1g	0g ~ 6000g	2g
KL-SD-K6MSH	0g ~ 6000g	1g	0g ~ 6020g	2g
KL-SD-K32S KL-IP-K32S	0kg ~ 15kg	0.005kg	0kg ~ 32kg	0.01kg
KL-SD-K32SH	0kg ~ 30kg	0.005kg	0kg ~ 32kg	0.01kg
KL-SD-K60A KL-IP-K60A	0kg ~ 32kg	0.01kg	0kg ~ 60kg	0.02kg
KL-SD-K60AH	0kg ~ 60kg	0.01kg	0kg ~ 60.2kg	0.02kg
KL-SD-K150A KL-IP-K150A	0kg ~ 60kg	0.02kg	0kg ~ 150kg	0.05kg
KL-SD-K150AH	0kg ~ 120kg	0.02kg	0kg ~ 150kg	0.05kg

1 計量表示が[0.00kg]等であることを確かめます。

※のせ台に何も載っていないのに、計量表示が [0.00kg] 等でない場合や、“▼ゼロ”マークが点灯していない場合は、[ON / ゼロ] キーを押してください。

2 「目量切替」キーを押します。

●点灯する目量マークが入れ替わり、目量と計量範囲が切り替わります。

※目量小から目量大にのみ、のせ台に被計量物が載っていても切り替えできます。風袋引き操作をしている場合、風袋値は大きい方の目量に丸められます。

※目量大から目量小へは、“▼ゼロ”マーク点灯時のみ切り替えできます。ただし、はかりの電源を入れた際、はかりのゼロ点が一定量を超えていると判定した場合は“E”を表示し、切り替えできません。

※目量大から目量小に切り替える際、風袋引き操作をしている場合は、自動的に解除されます。



★ファンクション設定を [FC 0] から [FC 1] に変更すると、目量小の計量範囲を超えたときのみ自動的に目量大に切り替わります。(初期設定は手動切替です)

※目量小に戻るには、上記の目量／計量範囲の切り替えを操作してください。

※ファンクション設定項目の変更方法については、P 21 をご参照ください。

■基本的な計量(計量モード)

1 計量表示が[0.00kg]等であることを確かめます。

※のせ台に何も載っていないのに、計量表示が[0.00kg]等ではない場合や、“▼ゼロ”マークが点灯していない場合は、[ON / ゼロ]キーを押してください。

※選択している目量/計量範囲に基づき“▼目量小”または“▼目量大”が点灯します。

★目量/計量範囲を変更したい場合は、「目量切替」キーを押してください。

2 のせ台に被計量物(はかるもの)を静かに載せ、“バランス”マークが点灯したら、表示値を読み取ります。

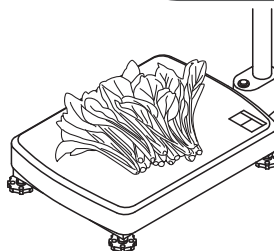
※被計量物の質量が、選択されている計量範囲+10目量以上のときは、計量範囲外となり、[EEEE]と表示します。ひょう量オーバーですので、のせ台に載っているものを降ろしてください。

■電源を切る

表示が消えるまで、「ON / ゼロ」キーを押します(約3秒)。

●表示はすべて消灯します。

※設定値の変更がある場合、[LoAd]と表示してから消灯します。



容器の質量を差し引く(風袋引き機能)

被計量物を風袋(容器など)に入れて計量する場合に、正味量(中身の質量)だけを表示することができます。風袋引き操作は、“そのつど容器の質量を差し引く(ワンタッチ風袋引き)”と“容器の質量をキーで設定する(プリセット風袋引き)”の2つを選択できます。

※最大風袋量を超える質量の容器は風袋引きすることができません。

※計量できる範囲は、風袋と正味量の合計がひょう量までです。風袋量の方だけ計量範囲が狭くなります(減算式風袋引き)。

※風袋引きの前に、“▼ゼロ”マークが点灯していることを確認してください。点灯していない場合は、「ON / ゼロ」キーを押してください。

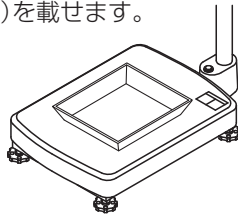
★記憶した風袋量の保持(ワンタッチ / プリセット風袋引き共通)

記憶した風袋量は、以下の操作まで保持されます。

- ・新しい風袋量の設定
- ・「ゼロ」キーによるゼロ設定
- ・風袋引きの解除
- ・計量モード/計数モードの切り替え
- ・電源オフ(※プリセット風袋量の設定入力初期値は、電源をオフしても保持されます。)

■そのつど容器の重さを差し引く(ワンタッチ風袋引き)

- 1 “▼ゼロ” マークが点灯していることを確認してから、のせ台の使用する容器(風袋)を載せます。

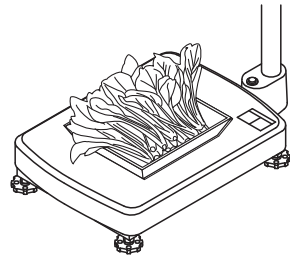


- 2 表示が安定し、“◎バランス” マークが点灯したら、「風袋」キーを押します。

- 風袋量が記憶され、“▼正味量” マークが点灯します。
- [0.00kg]等と表示します。

- 3 容器に被計量物(はかるもの)を入れます。

- 正味量を表示します。“◎バランス” マークが点灯してから、表示値を読み取ってください。
- ※最大風袋量まで、連続してワンタッチ風袋引き操作ができます。



■容器の質量をキーで設定する(プリセット風袋引き)

※ワンタッチ風袋引き中は設定操作ができません。ワンタッチ風袋引き解除してください。

※計量モード、計数モードのいずれでも設定できます。

- 1 「風袋」キーを長押し(約3秒)します。

- 質量表示(5桁)が点灯し、最下桁が点滅し、“PT” マークも点滅します。

- 2 使用する容器(風袋)の質量を設定します。

- ※「↑」キーを押す … 点滅桁の数値が増加
- 「↓」キーを押す … 点滅桁の数値が減少
- 「←」キーを押す … 点滅桁が移動

- 3 所定の値に設定できれば、「決定」キーを押します。



- 記憶されたプリセット風袋量がマイナス記号とともに表示されます。
- “▼正味量”マークと“PT”マークが点灯します。
※選択中の目量の整数倍で、対応するひょう量まで入力できます。設定できない値が入力された場合、エラー表示(“E”)します。



- 4 “▼ゼロ”マークが点灯していることを確認してから、被計量物(はかるもの)を入れた容器をのせ台に静かに載せます。
- 正味量を表示します。

■正味量表示と総量表示を切り替える

風袋引き操作中に「正味量 / 総量」キーを押すことで、総量(正味量+風袋量)と正味量(風袋引きされた値)の表示を切り替えることができます。

※総量表示の場合、“▼総量”マークが点灯し、正味量表示の場合、“▼正味量”マークが点灯します。



■風袋量を確認する

風袋引き中に、「正味量 / 総量」キーを押しながら「風袋」キーを押します。

- 風袋量が表示されます。
- ※風袋量は、2つのキーを押している間のみ表示します。
- ※風袋量を表示している間は、“▼総量” “▼正味量” マークとも消灯します。



■風袋引きを解除する(ワンタッチ / プリセット共通)

- 1 容器(風袋)を含む被計量物をのせ台から降ろします。
- 2 “▼ゼロ”マークが点灯していることを確かめ、「風袋」キーを押します。

- [0.00kg]等と表示し、風袋引きは解除されます。
- ※“▼総量” “▼正味量” マークとも消灯します。
- ※「ゼロ」キーを押して、“▼ゼロ”マークを点灯させた場合も、風袋引きは解除されます。



モード選択

計量機能と計数機能の選択、上下限比較機能の設定やオプションプリンタ接続時に印字する時刻やコード番号を設定できます。
 ※以下の操作で選択したいモード表示がでたら、「決定」キーを押します。

次のモードを選択できます。

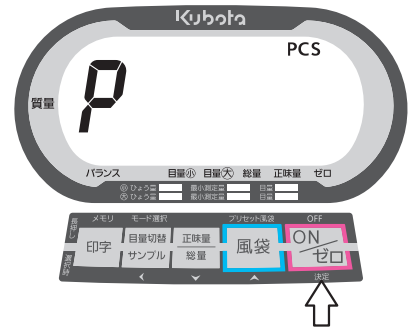
- ・計量モード … 計量画面(質量表示)
- ・計数モード … 計数画面(個数表示)
- ・上下限設定モード … 下限値及び上限値設定画面
(量の過不足を LO/OK/HI で判定して表示)
- ・時計設定モード … 年/月日/時分設定画面
(オプションプリンタ使用時)
- ・コード番号設定モード … コード番号(4桁)設定画面
(同上)

1 「モード選択」キーを長押し(約3秒)します。

- 計量モードを選択する表示[G kg]が点滅します。

2 選択したいモードが表示されるまで「モード選択」キーを押します。

- 計数モードを選択する表示[P PCS]が点滅します。
- 上下限設定モードを選択する表示[CHECK]が点滅します。
- 時計設定モードを選択する表示[y2015]が点滅します。
 ※オプションのRS-232C 使用時(プリンタ含む)のみ表示します。
- コード番号設定モードを選択する表示[CodE]が点滅します。
 ※オプションのRS-232C 使用時(プリンタ含む)のみ表示します。
- 再び、計量モードを選択する表示[G kg]が点滅します。

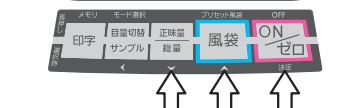
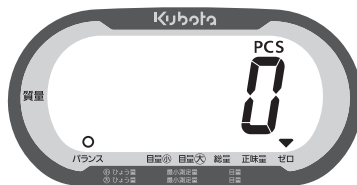
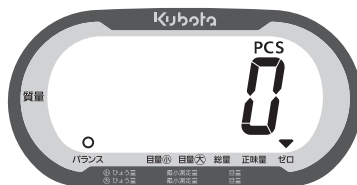
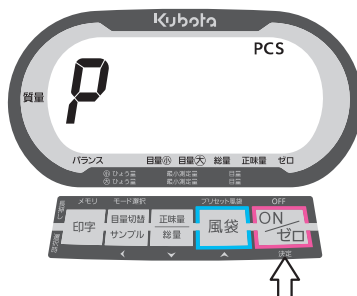


個数をはかる(計数機能)

品物1個の質量(単位質量)を設定することにより、正味量から個数を算出して表示することができます。

■計数モードに切り替える

P15のモード選択の操作で、計数モードを選択する表示[P PCS]を表示させ、「決定」キーを押します。



●計数モードに入ります。

※単位質量が設定されている場合は、個数を表示します。

※単位として“PCS”を表示します。

※目量マークは表示しません。

■単位質量を設定する

1 “◎バランス”マークが点灯していることを確かめてから、「サンプル」キーを押します。

●設定するサンプル数を選択する表示になります。

※左側に表示するサンプル数が点滅します。

※右側の桁が“0”を表示していない場合、「ON/ゼロ」キーを押して、表示を“0”にします。

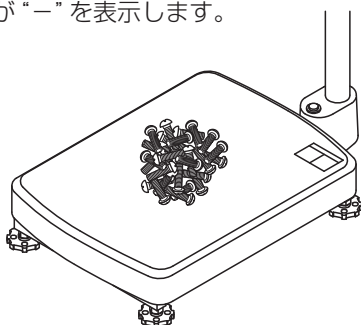
2 設定するサンプル数を表示させます。

※サンプル数は、5、10、20、50 および 100 から選択できます。

※「↑」キーを押すと、サンプル数が増加し、「↓」キーを押すと、サンプル数が減少します。

3 表示させた個数のサンプルをのせ台に静かに載せます。

※右端の桁が“-”を表示します。



4 “◎バランス”マークが点灯していることを確かめてから、「サンプル」キーを押します。

- 単位質量が記憶され、個数を表示(点滅から点灯)します。
- ※サンプル数が多いほど、精度の高い単位質量を設定できます。
- ※単位質量が目量小未満の場合、単位質量が設定できず、「L PCS」と表示します。
- ※設定した単位質量は、電源をオフしても記憶しています。

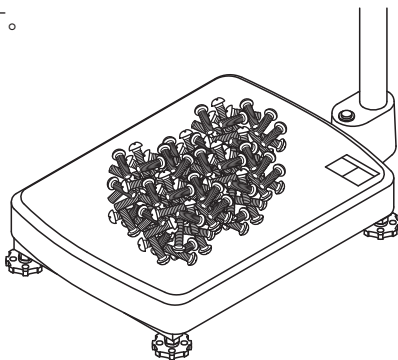


■個数をはかる

1 [L PCS]と表示していることを確かめます。
 ※のせ台に何も載っていないのに上記表示でない場合や、「▼ゼロ」マークが点灯していない場合は、「ON/ゼロ」キーを押してください。



2 のせ台に個数を調べたいものを載せます。
 ●設定されている単位質量に基づいて算出した個数を表示します。



※計数モードでも、「ワンタッチ風袋引き」および「プリセット風袋引き」を操作できます。また、上下限設定モードは、個数の上下限值として設定できます。計数モードに切り替えてから設定してください。

■計量モードにもどる

P15 のモード選択の操作で、計量モードを選択する表示 [G kg] を表示させ、「決定」キーを押します。

- 計量モードにもどります。



量の過不足をチェックする(上下限比較機能)

正味量が、設定した上限値および下限値の範囲内かどうかを、自動的に判定して表示することができます。
(計量モード、計数モード共通)

■下限値と上限値を設定する

1 P15のモード選択の操作で、上下限設定モードを選択します。

●下限値を設定する表示となります。

※“LO” が点滅し、数値の最下位桁が点滅します。



2 点滅している最下位桁から順に、キーを押して下限値を設定します。

※「↑」キーを押す … 点滅桁の数値が増加

「↓」キーを押す … 点滅桁の数値が減少

「←」キーを押す … 点滅桁が移動



3 所定の値に設定できれば、「決定」キーを押します。

●記憶した下限値を1秒間表示した後、上限値を設定する表示となります。

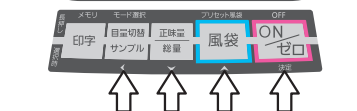
※“HI” が点滅し、数値の最下位桁が点滅します。



4 同様の手順で上限値を設定します。

5 所定の値を表示させ、「決定」キーを押します。

●記憶した上限値を1秒間表示した後、表示は元の状態(計量値表示または計数値表示)に戻り、設定した上下限値に基づいてHI/OK/LOのいずれかが点灯します。



■計量(計数)と判定

1 通常と同様に計量(計数)します。

●上下限値が設定されている場合、計量値(または計数値)が安定することに、次の判定式に基づき、点灯表示します。

HI : 上限設定値 < 正味量

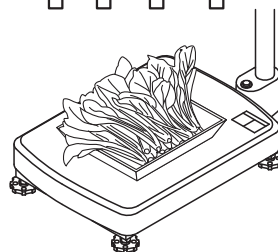
OK : 下限設定値 ≤ 正味量 ≤ 上限設定値

LO : 正味量 < 下限設定値

※設定した上下限値は電源をオフしても記憶していますが、計量/計数モードを切り替えた場合は消去されます。

※オプションの上下限リレー出力キットを使用すると、各接点信号を外部に出力できます。

(使用時には、オプションのACアダプタが必要です。)



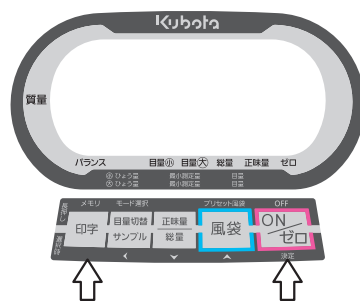
設定値を記憶させ、呼び出す(メモリ機能)

あらかじめ、プリセット風袋量や上下限設定値を記憶(メモリ)させておき、計量時に呼び出すことができます(最大5種類)。

■メモリ(プリセット)を事前に設定する

- 1 電源オフの状態で「メモリ」キーを押しながら「ON/ゼロ」キーを押し、電源を入れます。

- 設定するメモリ(プリセット)番号を選択する表示となります。



- 2 設定したいメモリ(プリセット)番号を表示させ、「決定」キーを押します。

- ※「↑」キーを押す … 点滅桁の数値が増加
- 「↓」キーを押す … 点滅桁の数値が減少



- プリセット風袋量を入力する表示となります。
- ※質量表示の最下位桁が点滅し、「PT」マークも点滅します。



- 3 使用する容器の質量(風袋)を表示させ、「決定」キーを押します。

- ※「↑」キーを押す … 点滅桁の数値が増加
- 「↓」キーを押す … 点滅桁の数値が減少
- 「←」キーを押す … 点滅桁が移動

- ※プリセット風袋量設定しない場合は、「決定」キーを押し、上下限値の設定に進んでください。



- プリセット風袋量を記憶し、下限値を設定する画面を表示します。

- ※「LO」が点滅し、数値の最下位桁が点滅します。



4 同様の手順で、下限値及び上限値、コード番号を設定します。

※別のメモリ(プリセット)番号についても、同様の手順で設定してください。

5 すべてのメモリ(プリセット)設定が完了したら、表示が消えるまで、「OFF」キーを押します。

※[LoAd]と表示され、設定値が記憶されます。



■メモリ(プリセット)を呼び出す

1 計量表示または計数表示にて、「メモリ」キーを長押し(約3秒)します。

※風袋引き中の場合、風袋引き解除してから操作してください。

●設定済のメモリ(プリセット)番号が表示されます。

※「↑」キーを押す … 点滅桁の数値が増加

「↓」キーを押す … 点滅桁の数値が減少



2 使用するメモリ(プリセット)番号を表示させ、「決定」キーを押します。

●設定されているプリセット風袋量、下限値、上限値、コード番号が各2秒表示され、



●計量または計数表示に戻ります。

※メモリ(プリセット)値を呼び出した後に、プリセット風袋量や上下限値を設定した場合、後の設定値が優先されます。



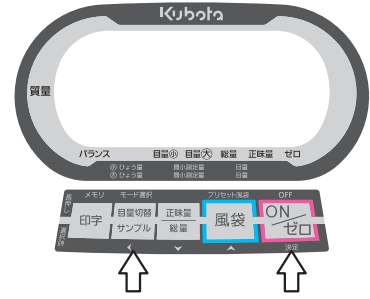
その他の機能(ファンクション設定)

オートパワーオフの設定時間やバックライトの点灯輝度など、各種機能の設定を変更できます。

■ファンクション設定値を変更する

1 電源オフの状態で「モード選択」キーを押しながら「ON/ゼロ」キーを押し、電源を入れます。

●設定するファンクションを選択する表示となります。



2 「決定」キーを押すと、次のファンクション設定項目と値を表示しますので、変更したい項目が表示されるまで、「決定」キーを押します。



3 変更したいファンクション設定項目と値が表示されたら、キーを押して設定値を変更します。



※「↑」キーを押す … 設定値の数値が増加
「↓」キーを押す … 設定値の数値が減少

4 所定の値に設定できれば、「決定」キーを押します。

●設定変更を記憶し、次のファンクション項目と設定値を表示します。



5 同様の操作ですべてのファンクション設定変更が完了したら、表示が消えるまで「OFF」キーを押します。

●設定変更を記憶し、次のファンクション項目と設定値を表示します。

※[LoAd]と表示され、設定値が記憶した後、消灯します。



■ファンクション設定値一覧

★：ファンクション設定のデフォルト値（工場出荷時設定）

ファンクション番号と設定値	備考
F0 … オートパワーオフ機能の設定 0：機能なし ★1：機能あり（3分） 2：機能あり（10分） 3：機能あり（30分）	表示値（総量）が、ゼロの状態です。一定時間経過すると、節電のため自動的に電源が切れる機能です。
F1 … RS-232C CH1 データ出力タイミングの選択 ★0：出力しない 1：タレ流し（表示更新に同期して連続出力） 2：印字トリガ成立時（印字キー、自動印字条件成立時）	RS-232C オプション（プリンタ含む）を使用する際に選択します。CH1 が外部にシリアルデータを出力する際のタイミングを設定します。 ※一体型プリンタオプション接続時は“2”に設定してください。
F2 … RS-232C CH1 出力データ形式の選択 ★0：質量データ 1：スパンデータ 2：質量データ（印字サイン付） 3～5：（未設定）	RS-232C オプション（プリンタ含む）を使用する際に選択します。CH1 が外部にデータを出力する形式を設定します。 ※一体型プリンタオプション接続時は“2”に設定してください。
F3 … 印字条件の選択（CH1、CH2 共通） ★0：手動印字 1：自動印字（ゼロ付近を経過後、再印字） 2：手動印字（上下限判定で“OK”の場合のみ印字可能） 3：自動印字（上下限判定で“OK”の場合のみ印字可能） 4：自動印字（20 目量以上変化後、再印字）	印字（データ出力）条件を設定します。
F4 … 風袋引き中の零トラッキング機能の設定 0：風袋引き中は効かない ★1：風袋引き中も効く	風袋引き中でも、表示がゼロの場合に、零トラッキングが効くかを選択できます。
F5 … 移動平均回数の選択 0： 2回 1： 4回 ★2： 8回 3：16回（表示を安定させたい場合）	質量表示に移動平均をかけ、表示の安定度を変更できます。
F7 … 加算機能の設定 0：加算機能なし ★1：加算機能あり	プリンタオプションを使用する際に、印字の度に正味量を加算するかどうかを選択できます。
F9 … リレーノーマル状態の切替 ★0：ノーマルオフ 1：ノーマルオン 2：ノーマルオフ+ブザー出力（信号灯 OP2 用） 3：エラー時オン（信号灯 OP1 で HI/LO 時に出力）	リレー接点出力オプションを使用する際に選択します。信号灯 OP2 を接続時は“2”に設定してください。 信号灯 OP1 で LO/HI 時に回転させたい場合は“3”に設定してください。

★：ファンクション設定のデフォルト値（工場出荷時設定）

ファンクション番号と設定値	備考
<p>FR… 上下限判定の範囲の選択</p> <p>★0：常時判定 1：ゼロ付近以下では判定しない 2：ゼロ表示では判定しない</p> <p>※ゼロ付近、ゼロ表示とも風袋引き中は正味量で判定</p>	<p>リレー接点出力オプションを使用する際に選択します。</p> <p>※ゼロ付近…ゼロ ± 20 目量</p>
<p>Fb… 印字フォーマットの選択</p> <p>★0：レシート印字 1：チケット印字</p>	<p>印字の際の出力フォーマットを選択できません。</p>
<p>FC… 計量範囲／目量切替方法の選択</p> <p>★0：手動切替 1：半自動切替</p>	<p>“1” に設定すると、小さい計量範囲を超えた場合、自動で大きい計量範囲に切り替えることができます。</p>
<p>Fd… 電源オン時の日時の設定</p> <p>★0：日時表示のみ(時計エラー時は日時入力画面になる)</p> <p>1：常に日時入力画面を表示 2：時計機能なし(表示、印字しない)</p>	<p>電源を入れた際に日時設定の可否を選択できます。また、時計機能不要の場合“2”を選択してください。</p>
<p>G1… RS-232C CH2 データ出力タイミングの選択</p> <p>★0：出力しない</p> <p>1：タレ流し(表示更新に同期して連続出力) 2：印字トリガ成立時(印字キー、自動印字条件成立時)</p>	<p>RS-232C オプションを使用する際に選択します。CH2が外部にシリアルデータを出力する際のタイミングを設定します。</p>
<p>G2… RS-232C CH2 出力データ形式の選択</p> <p>★0：質量データ 1：スパンデータ</p> <p>2：質量データ(印字サイン付) 3～5：(未設定)</p>	<p>RS-232C オプションを使用する際に選択します。CH2が外部にデータを出力する形式を設定します。</p>
<p>G3… バックライト点灯の選択</p> <p>0：点灯しない 1：点灯する(常時) 2：点灯する(非ゼロ付近で安定後5秒保持)</p> <p>★3：点灯する(非ゼロ付近で安定後10秒保持) 4：点灯する(非ゼロ付近で安定後30秒保持) 5：点灯する(非ゼロ付近で安定後60秒保持)</p>	<p>バックライト点灯の可否や、点灯時間を選択できます。</p>
<p>G4… バックライト点灯輝度の選択</p> <p>★0：低輝度(50%) 1：高輝度(100%)</p>	<p>バックライトの点灯輝度を選択できます。</p>

故障かな？と思ったら

トラブルのようす	ご確認ください
「ON/ゼロ」キーを押しても表示がつかない	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が消耗していませんか？ ●電池ケースの電池は方向が正しく入れられていますか？ ●ACアダプタ（オプション）をお使いの場合、電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？
「ON/ゼロ」キーを押したあと、表示が[0.00kg]にならない	<ul style="list-style-type: none"> ●のせ台の上にモノが載っていませんか？ ●のせ台に、何か当たっていませんか？ ●強い風が当たっていませんか？
表示が安定しない	<p><P2～P3ご使用の前に>をご確認ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安定した床の上に設置されていますか？ ●調整脚が浮いていませんか？ ●強い風が当たっていませんか？ ●近くに強い電磁波を発生するような機器がありませんか？ ●ACアダプタ（オプション）をお使いの場合、同じ電源から動力機器を動かしていませんか？
風袋引き／風袋引き解除が効かない	<ul style="list-style-type: none"> ●バランスマーク◎を確かめてください。表示値が安定しているときのみ、キー操作は有効です。
正味量／総量の切替が効かない	<ul style="list-style-type: none"> ●風袋引き中マーク▼を確かめてください。風袋引き中のみキー操作は有効です。
上下限設定で、上下限值が設定できない。 [E]が1秒間点灯する。	<ul style="list-style-type: none"> ●最下桁の数値が目量と合っていますか？ ●下限値よりも小さな値を上限値に設定していませんか？ ●設定値がひょう量を超えていませんか？
「ON/ゼロ」キーを押したあと、表示が[-----]となる。	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が入ったときにゼロ範囲を超えています。のせ台にモノが載っていないか、何かに当たっていないかを確認してください。
計量中に、表示が[EEEE]または[FFFF]となる。	<ul style="list-style-type: none"> ●ひょう量オーバーです。のせ台に載せているモノを降ろしてください。
計量中に、表示が[AErr]となる。	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が消耗していませんか？
印字しない（オプションプリンタを使用しているとき）	<ul style="list-style-type: none"> ●印字用紙は正しくセットされていますか？ ●プリンタの電源プラグは、コンセントにしっかり差し込まれていますか？ ●バランスマーク◎を確かめてください。表示値が安定しているときのみ、キー操作は有効です。

※その他の場合は、お買い求めの販売店、または弊社お客様窓口までお問い合わせください。

計量器 お客様相談窓口（コールセンター）
0120-732-058

保管とお手入れのしかた

つねに正確な計量を行うため、はかりにほこりや泥などが付着しないようにしてください。

①はかりは分解しないでください(のせ台の取り外しを除きます)。

②はかりが汚れた場合は、

1) のせ台 …計量台部から取り外し、水洗い後、乾燥させてください。

2) 計量台部(内部) …中性洗剤を湿らせた柔らかな布で拭いてください。

※水を直接掛けないでください。また、高圧洗浄機やスチームを直接吹きかけると故障の原因となります。

3) 表示部 …水または中性洗剤で湿らせた柔らかな布で拭いてください。

高圧洗浄機やスチームを直接吹きかけると故障の原因となります。

③清掃の際、シンナーや薬品を使用しないでください。

④保管の際は、次の点にご注意ください。

- ・ 高温・多湿を避けてください。
- ・ 直射日光が長時間当たる場所や、雨のかかる場所を避けてください。
- ・ 衝撃や振動の加わる場所を避けてください。

主仕様

【KL-SD / KL-IP シリーズ】

型式	KL-SD-K6MS(H) KL-IP-K6MS	KL-SD-K32S(H) KL-IP-K32S	KL-SD-K60A(H) KL-IP-K60A	KL-SD-K150A(H) KL-IP-K150A	
ひょう量 × 目量 (切替式)		3000g×1g 6000g×2g	15kg× 5g 32kg×10g	32kg×10g 60kg×20g	60kg×20g 150kg×50g
	(H)高精度	6000g×1g 6020g×2g	30kg× 5g 32kg×10g	60kg×10g 60.2kg×20g	120kg×20g 150kg×50g
計量精度		3級(1/3000)			
	(H)高精度	3級(1/6000)			
最大風袋量(減算式)	ひょう量まで				
のせ台寸法(mm)	300(W)×250(D)	350(W)×350(D)	370(W)×500(D)		
製品質量(電池含む)	約7kg	約10kg	約12kg		
計量/計数表示	白色LEDバックライト付液晶表示5桁, 文字高さ46mm, 7セグメント				
機能	①ゼロリセット ②風袋引き(半自動・プリセット) ③上下限比較 ④計数機能 ⑤正味量/総量表示切替 ⑥オートパワーオフ				
計数時のサンプリング数	5,10,20,50,100 個(切替可能)				
最大計数值	約6,000 個			約7,500 個	
計数可能単位質量	1g	5g	10g	20g	
使用条件	温度	0℃~+40℃	-10℃~+40℃		
	湿度	85%RH 以下(結露しないこと)			
電源	アルカリ/マンガン乾電池(単1型) 1.5V×4本 または AC アダプタ(オプション)				
電池寿命(※1)	約3,000 時間(アルカリ乾電池使用時、バックライト非点灯時) ただし、電池の型番や使用環境により変わります。				
付属品	マンガン乾電池(単1型): 4本 取扱説明書: 1冊				
オプション(※2)	OP11T RS-232C データ出力(時計機能あり), 同RS-232C 通信ケーブル OP03 ジャーナルプリンタ(KL-SD), OP03-1 ジャーナルプリンタ(KL-IP) OP06 リレー出力 OP52 指示計据置台(KL-SD), OP52-1 指示計据置台(KL-IP) OP56 延長ケーブル(4m) OP80 AC アダプタ				

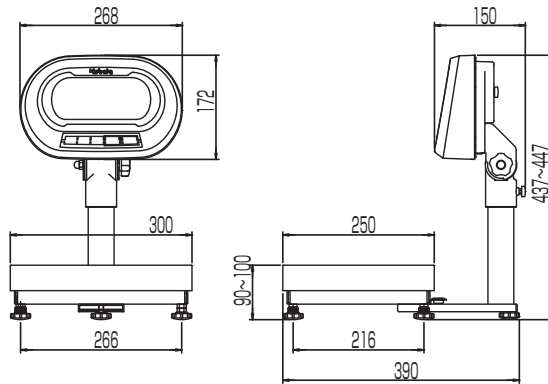
※1: OP11T(RS-232C データ出力)使用時は、電池寿命が半分以下となります。

※2: OP06(上下限リレー接点出力)使用時は、OP80(AC アダプタ)が必要です。

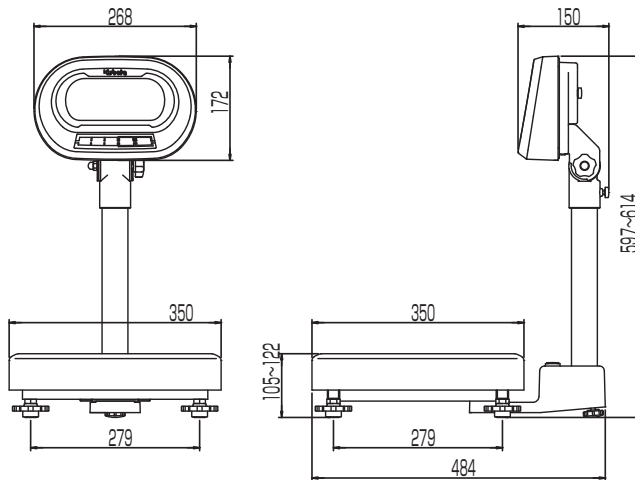
※3: OP56(延長ケーブル)使用時は、OP52 又は OP52-1(指示計据置台)が必要です。

【KL-SD シリーズ外形寸法図】

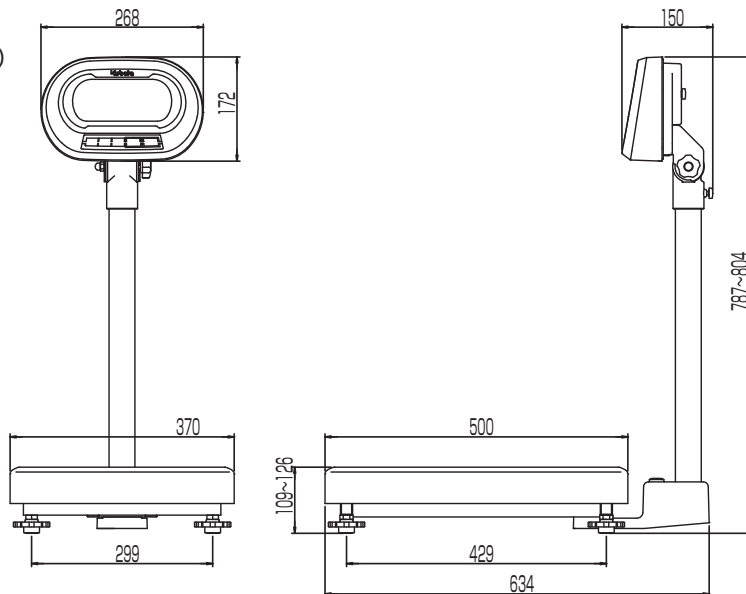
KL-SD-K6MS(H)



KL-SD-K32S(H)

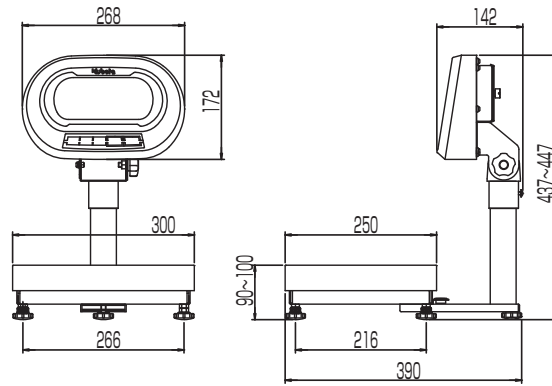


KL-SD-K60A(H)
KL-SD-K150A(H)

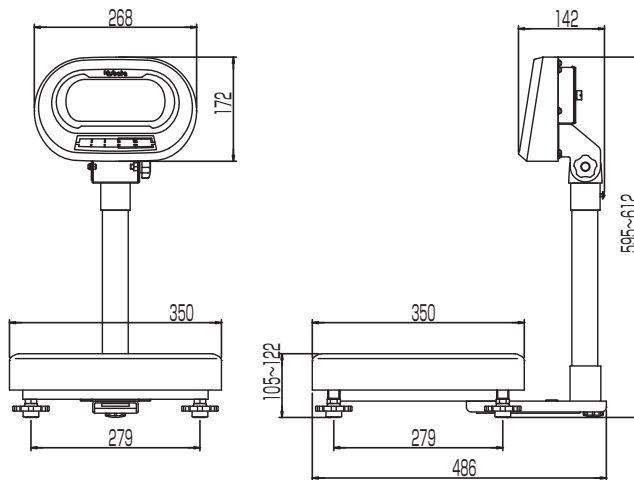


【KL-IP シリーズ外形寸法図】

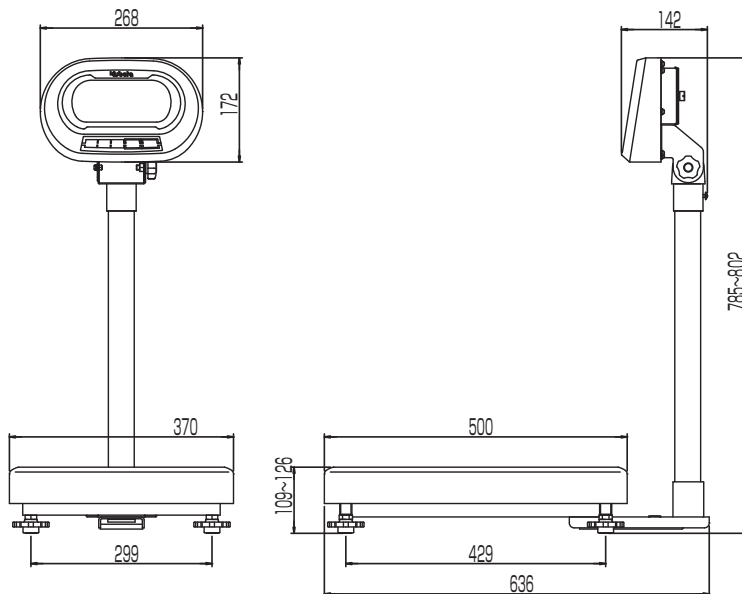
KL-IP-K6MS



KL-IP-K32S



KL-IP-K60A
KL-IP-K150A



<製品型式> <input type="checkbox"/> KL-SD-K <input type="checkbox"/> KL-IP-K	<器 番>
--	-------

<設置日 (お買い上げ日) >	年	月	日
-----------------	---	---	---

<販売店>

株式会社クボタ

計量器 お客様相談窓口(コールセンター)



0120-732-058

東 京 本 社 〒104-8307 東京都中央区京橋2-1-3
TEL : 03-3245-3912 FAX : 03-3245-3919

久宝寺事業センター 〒581-8686 大阪府八尾市神武町2-35
TEL : 072-993-1932 FAX : 072-993-1929

クボタ計量器ホームページ

<http://www.keisoku.kubota.ne.jp/>